平成 23 年度　事務事業事後評価調書（平成　22　年度事業）

整理番号	9 － 54

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	ふるさと夏まつり盆踊り大会補助事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		商工観光係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	齋藤康志
事業の概要	盆踊りは古くから夏休みの大きなイベントであり、主に自治会主催で町内各地でも行われてきたが、少子高齢化等の影響より存続が危ぶまれている。 大通り商店街主催の「サンパロットまつり」で盆踊りを行っているが、予算の都合上大変厳しい運営となっており、伝統行事の継続と商店街活性化を目的として運営費補助を行うものである。			全体計画 / 単年度繰返 （平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	2,500 千円
					事業費計	2,500 千円
実施方法	■ 直営	□ 民間委託	□ その他（　）			
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～			
	基本施策	4	商工業の振興			
	単位施策	3	住民を支える商店街づくりへの支援			
	事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	500 千円	500 千円	431 千円	500 千円	500 千円
	合計	500 千円	500 千円	431 千円	500 千円	500 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	雄武町大通り商店街協同組合	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	予算上の制約と関係者の高齢化	イベント実施回数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	イベントを実施することで商店街の賑わいを演出し、町民同士・家族同士のふれあいの機会を作る。	① 実施回数	目標年度	22年度
			目標値	1 回
			実績値	1 回
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着し、賑わいのある商店街実現の一端を担う。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
補助金の支出	「サンパロットまつり」開催に対する補助金支出。 内容は、盆踊り、歌謡ステージ、縁日、売店等の各種アトラクションの実施等。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	当事業は大通り商店街協同組合の財政上の制約によりイベント開催が危惧されたことに起因するものであることから、イベントが定着し、軌道に乗るまでは支援が必要と考える。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	天候が悪く、２３０人の来場であったが、参加者は盆踊りに参加するなど、期待した効果はあったと判断する。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	実行団体にあっては、限られた予算・人員の中で企画実施しており、効率的と判断する。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町民広くを対象としたイベント開催事業であることから、公平と判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
天候に左右される問題はあったものの、町民が集い盆踊りや抽選会を楽しんだことから、目標は達成されたと判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
商店街関係者のみならず多くの団体等が関わることにより、町全体の行事として定着させるための工夫が必要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）